

自己実現 自主自立 本物の笑顔のために

東の風



平戸市立田平東小学校
学校便り

やさしく
かしこく
たくましく

No.91

平成29年3月13日(月)

文責：園田

学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

美しく、豊かで、そして厳しい

先週の土曜日は3月11日。6年前、東日本大震災が起きた日です。命をなくされた方、1万5千人以上。今も行方不明の2554人の方々、そして故郷を離れ避難生活を強いられたままの方も大勢いらっしゃいます。

多くの犠牲者を出した大地震。そして大津波。大地が揺れ、この平戸市や田平町を取り囲む海と同じ海が、厳しく、そして激しい牙をむきました。

碧く広く、深い海。眺めてよし、泳いでよし、釣りしてよし。生命の源である母なる海。海は、悠久の昔から私たちに多くの恵みをもたらしてきました。

多くの離島があり海に囲まれた長崎県に住む者にとって海は身近なものだと思います。私は松浦出身。窓から海が見える家で育ちました。家を出て1分もかからず海へ行けました。泳げる場所も近所に沢山ありました。だから子どもの頃から海は大好きです。これまで勤めた学校への通勤時も、そして今も、いつも気持ちよく、海を眺めながらの通勤です。潮の香りをかぎながら、そして真っ青で美しい海、大きく広い海を眺めながら散歩やジョギング、ドライブやツーリングをしていると心がすっきり晴れ晴れとします。幼い子どもの頃から海は友達、そんな気持ちでした。



そんな素晴らしい海が突然もたらした大災害。人々に与えた大きな試練。自然の厳しさを改めて感じました。

卒業の季節。様々な学校から子ども達が巣立っていきます。これから先、海のように広い社会に出て、様々な場所で様々な人や出来事に出会い、豊かな人生を歩むでしょう。でも、海と同様に、社会は自分に恵みを与えてくれますが、非常に厳しいものでもあります。子ども時代のように守ってはもらえません。学校のように守ってはくれません。時には海のように厳しい牙を向いてくることもあるかもしれません。社会は厳しい！

負けないでほしい。どんな時でも、前を向いて一步を踏み出してほしいと思います。その一步が小さくても、時間がかかっても踏み出せば必ず前に進むことが出来るからです。自助力、自立心をもち生き抜く子ども。厳しい試練にも立ち向かい、たくましく生きる。そんな子ども達を育てられるよう努力したいと思います。

地震対応避難訓練

卒業、修了も間近ですが、先週、3月10日。3月11日を前にして地震対応の避難訓練を実施しました。地震、更には津波に関しても学びます。本校は海拔62mほどの場所にあります。津波の



心配はないと考えがちですが、いわゆる想定外の事が起こりえます。また、子ども達が暮らすのは学校だけではありません。いろいろな場所にも出かけます。従って、いつ、どこにいる時に地震や津波等の災害に遭遇するか分かりません。避難訓練は、いざという時に思い出し行動できるよう毎年何回も繰り返し学習しています。

どこにいても、どんな場所であっても、命を守るための安全な避難の仕方が分かり、自分で落ち着いて考え、正しく判断し、正しく行動できる力を身につけさせます。自分の命は自分で守る力を身につけさせます。